

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用事業成果検証について

成果検証実施年度 令和6年度

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	事業期間	従前値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
1	所沢市	ゼロカーボンスーパーシティ所沢・GXインシアティブプロジェクト	ゼロカーボン産業団地の創出を計画することにより、二酸化炭素排出量の削減、災害時のエネルギー確保に関するレジリエント強化の手段の検討及び費用の算出を行い、実現可能性について委託調査を実施する。	ソフト	ゼロカーボン産業団地の創出により、「環境負荷の軽減」や「防災性の向上」に寄与する必要性に関する理解度向上	令和5年度	0% (令和5年6月時点)	67.0% (令和6年3月時点)	85.5% (令和6年6月時点)	A	
2	本庄市	本庄市産業用地適地選定調査業務	企業立地を促進し、地域経済の活性化や雇用を確保するため、産業用地を創出するための候補とすべき適地の選定について、整備課題の整理や企業ニーズの把握を行い、早期かつ円滑な事業化に向けた候補地の選定及び方策を検討するための調査を実施する。	ソフト	産業用地の候補地面積（工業専用地域）	令和5年度	107.9ha (令和5年4月時点)	117.9ha (令和6年3月時点)	156.5ha (令和6年3月時点)	A	
3	戸田市	戸田市ウォークアップ推進業務	事業者・学識経験者・市民等による協議体を組織のうえ、北戸田駅周辺における回遊性のある空間形成・地域資源の活用方法等を議論・検討し、北戸田駅周辺の将来的な姿を「将来ビジョン（案）」として示し、当該エリアの目指す姿の共有を図るとともに、具体的なまちづくりの取組を「戸田市都市再生整備計画」として設定する。	ソフト	戸田市都市再生整備協議会の開催回数	令和5年度	0 (令和5年5月時点)	3 (令和6年3月時点)	3 (令和6年3月時点)	A	
4	ふじみ野市	市民サービス拡充に向けたBPR支援・分析・検討事業	市民サービス拡充のため業務量調査、分析を実施する。結果を踏まえ、デジタル技術や業務アウトソーシングを活用し、申請の24時間受付や同一事項の複数回記載を不要とするなど、市民にとって利用しやすい申請窓口、デジタル市役所の実現を検討する。	ソフト	業務量調査による調査件数	令和5年度	0 (令和5年4月時点)	10 (令和6年3月時点)	10 (令和6年3月時点)	A	
5	三芳町	スマートなまちづくりの実現に向けた公共交通ニーズ調査事業	公共交通に関するニーズ調査として、既存の民間路線バス事業者へのヒアリングや町民アンケート等を実施し、公共交通の課題や再編に向けた方向性を調査する。	ソフト	公共交通施策の立案件数	令和5年度	0件 (平成31年3月時点)	3件 (令和6年3月時点)	3件 (令和6年3月時点)	A	

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用事業成果検証について

成果検証実施年度 令和6年度

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	事業期間	従前値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
6	小鹿野町	道の駅等の公共施設を中心とした観光機能、交流拠点の強化のための調査事業	住民、観光客等のニーズを把握し、需要調査とその分析を行うとともに、利便性を高める公共交通ネットワーク形成を検討する。	ソフト	住民、事業者アンケート及びヒアリングの数	令和5年度	0人 (令和5年2月時点)	1,500人 (令和6年3月時点)	1,235人 (令和6年3月時点)	A	目標値の1,500人には届かなかったが、8割以上の1,235人からアンケートまたはヒアリングに対する回答を得ることができた。それらに加え、ワークショップで収集した意見も踏まえて小鹿野町公共交通計画を策定することができた。 策定した地域公共交通計画の実行に当たり、コンパクト・スマート・レジリエントなまちづくりにつながるよう、今回集まった住民の意見を踏まえながら、町内の交通について検討、取組を進めていく。
7	美里町	令和5年度 美里町まちづくり拠点地区の事業化に向けた調査	美里 SuperTown プロジェクトの事業化に向け、先導的に整備すべき役場周辺エリアの土地利用構想及び開発整備手法の検討を行うとともに、円滑な事業推進を図るための地権者説明会・意向調査や進出企業等の選定を行う。	ソフト	立地候補者数	令和5年度	0 (令和5年4月時点)	1 (令和6年4月時点)	0 (令和6年4月時点)	C	企業選定公募の前段階である中心拠点地区の実現に向けた調整及び農林や都市計画等の事前協議等に時間を要し、令和5年度末時点では事前協議等に見通しがつかなかった。 このことから、中心拠点地区へ進出する企業を選定するための公募が未実施であり、目標が未達となった。 引き続き、中心拠点地区の実現に向けた調整及び農林や都市計画等の事前協議等を行うとともに、1社でも多くの企業から提案いただくための立地企業公募案を作成することで、成果目標である「立地候補者数」1以上を目指す。
8	宮代町	宮代版スーパー・シティ構想推進事業	市民参加の検討組織メンバーとともに地域のアドバイザーの協力を得て、社会実験やワークショップ等の実施により、周辺エリアの整備方針を検討する。	ソフト	東武動物公園駅西口周辺エリアの整備方針の作成	令和5年度	0 (令和5年3月時点)	1 (令和6年3月時点)	0 (令和6年3月時点)	C	まちづくりアイデアの募集の方法や条件設定などの検討、住民の意見集約に時間を要し、当初想定していたスケジュールに遅れが生じたため、目標である「東武動物公園西口周辺エリアの整備方針の作成」に至らなかったが、令和6年度には、住民からのまちづくりアイデアの募集結果を踏まえて実現に向けた講評会を実施したことで、具体的な整備の方向性を整理することができた。 令和7年度以降はこれまでの検討を踏まえた上で、東武動物公園駅西口周辺エリアのハード整備を実施していく予定となる。